

平成30年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	地域医療再生基金（地域医療再生臨時特例交付金）			担当部局庁	復興庁	作成責任者						
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	山口 浩孝					
会計区分	東日本大震災復興特別会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	「平成27年度地域医療再生臨時特例交付金の交付について」(平成27年6月10日)、「地域医療再生臨時特例交付金の運営について」(平成27年6月10日)							
主要政策・施策				主要経費	社会保障							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当交付金を交付して、東日本大震災により大きな被害を受けた県に地域医療再生基金を積み増し、被災地の医療提供体制を再構築することを目的とする。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	福島県の避難解除等区域における医療体制の再構築に向けて、福島県が医療の復興計画に定めた事業を支援するため、基金を拡充する。											
実施方法	交付											
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	27年度	17,230	28年度	-	29年度	23,626	30年度	-	31年度要求	-
		補正予算	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	17,230	0	23,626	0	0	0				
	執行額	17,230	-	23,626	-	-	-					
	執行率 (%)	100%	-	100%	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	#DIV/0!	100%	-	-	-						
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由								
	計	-	-									

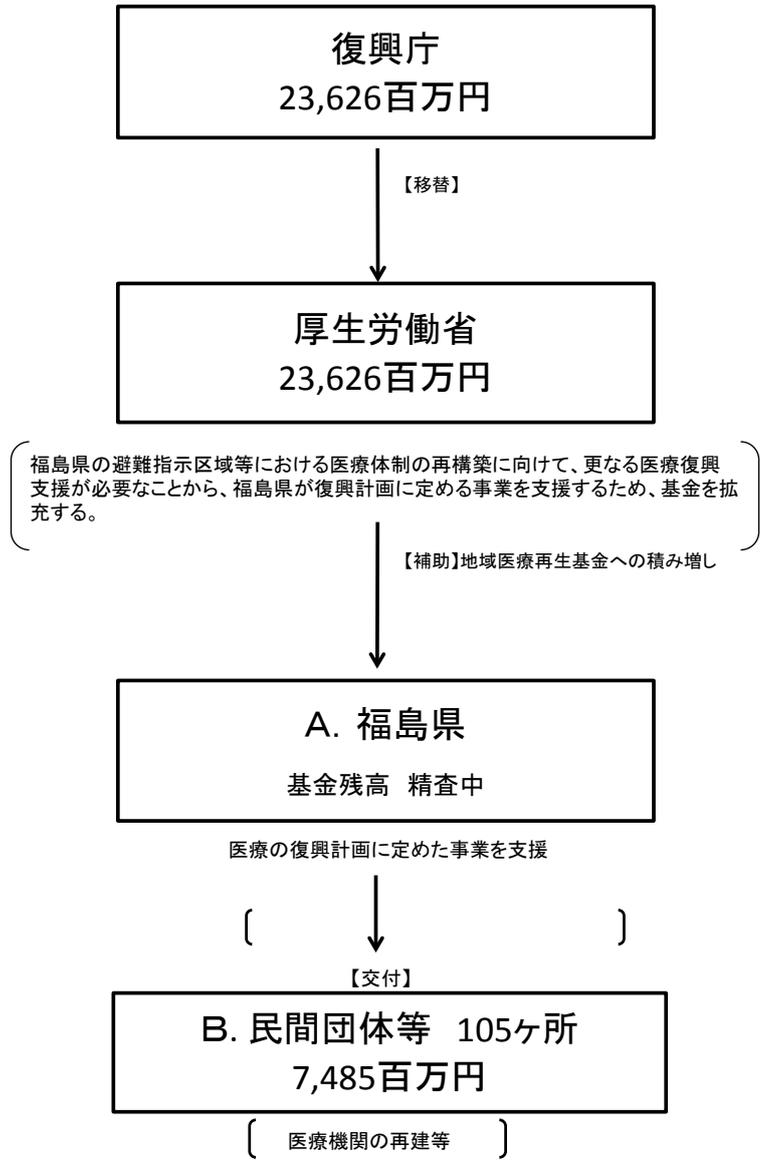
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(岩手県)	地域医療再生基金を活用した施設設備整備等により、受入可能となる病床数(累積)	成果実績	床	0	100	160	-	-	160	160
		目標値	床	0	100	160	-	-	160	160
		達成度	%	0	100	100	-	-	100	100
根拠として用いた統計・データ名(出典)	岩手県において把握した病床数									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(宮城県)	地域医療再生基金を活用した施設設備整備等により、受入可能となる病床数(累積)	成果実績	床	0	180	520	-	-	520	520
		目標値	床	0	180	520	-	-	520	520
		達成度	%	0	100	100	-	-	100	100
根拠として用いた統計・データ名(出典)	宮城県において把握した病床数									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	32	年度
震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(福島県)	地域医療再生基金を活用した施設設備整備等により、受入可能となる病床数(累積)	成果実績	床	445	675	705	-	-	-	-
		目標値	床	490	720	705	-	-	1,405	1,405
		達成度	%	100	100	100	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	福島県において把握した病床数									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	27	年度
震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(茨城県)	地域医療再生基金を活用した施設設備整備等により、受入可能となる病床数(累積)	成果実績	床	161	-	-	-	-	161	161
		目標値	床	161	-	-	-	-	161	161
		達成度	%	100	-	-	-	-	100	100
根拠として用いた統計・データ名(出典)	茨城県において把握した病床数									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
鹿行医療圏の病院勤務の人口10万人対常勤医師数について、震災前の状況(平成22年10月1日時点)にまで回復する(茨城県)	病院勤務の人口10万人対常勤医師数(H25.10現在45.1人)	成果実績	人	47.5	47.7	48.6	-	-	48.6	48.6
		目標値	人	54.4	54.4	54.4	-	-	54.4	54.4
		達成度	%	87.3	87.7	89.3	-	-	89.3	89.3
根拠として用いた統計・データ名(出典)	茨城県常住人口調査結果報告書、医療施設調査・病院報告									

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	施設設備整備等事案件数(岩手県)	活動実績		箇所	3	-	-	-
当初見込み			箇所	3	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	施設設備整備等事案件数(宮城県)	活動実績		箇所	2	-	-	-
当初見込み			箇所	2	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	施設設備整備等事案件数(福島県)	活動実績		箇所	7	-	1	-
当初見込み			箇所	7	-	17	19	19
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	施設設備整備等事案件数(茨城県)	活動実績		箇所	3	-	-	-
当初見込み			箇所	3	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	(岩手県) 執行額/施設設備整備等事案件数	単位当たり コスト	百万円	190.3	-	-	-	
		計算式	執行額/施設設備整備等事案件数		571/3	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	(宮城県) 執行額/施設設備整備等事案件数	単位当たり コスト	百万円	5,005.5	-	-	-	
		計算式	執行額/施設設備整備等事案件数		10,011/2	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	(福島県) 執行額/施設設備整備等事案件数	単位当たり コスト	百万円	706.6	-	23,626	-	
		計算式	執行額/施設設備整備等事案件数		4,946/7	-	23,626/1	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	(茨城県) 執行額/施設設備整備等事案件数	単位当たり コスト	百万円	567.3	-	-	-	
		計算式	執行額/施設設備整備等事案件数		1,702/3	-	-	-

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		I-1-1. 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること									
	施策		-									
	測定指標	定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
				実績値	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
				-	-							
				-	施策の進捗状況(実績)							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	事業計画に基づき事業を実施することにより、地域において必要な医療を提供できる体制整備をより一層促進できる。											
改革項目	分野:	-	-									
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善							
	項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	被災地の医療提供体制の再構築は、国民の生活を守る上で重要であり、国費を投入すべき。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	被災地の医療提供体制の再構築について、国として財政支援を行う必要がある。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	被災県が実情に応じて優先度の高い事業を実施している。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	補助率等は、被災県において妥当性を精査し、設定している。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	合理的でかつ必要な経費に限られているため、単位当たりコストの水準は妥当である。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	被災県が策定する「医療の復興計画」等に基づいて交付額を決定しており、「医療の復興計画」等に定められた事業の実施に活用するため、目的に即した用途に限られる。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	計画を達成するために不足している金額を計上している。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は成果目標に見合ったものになっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	被災県は自ら策定した「医療の復興計画」等に基づく事業に活用できるため、被災地の医療提供体制の再構築に向けて実効性の高いものとなっている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業の完了に遅れが生じているが、事業そのものは開始しており、問題ない。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	被災県において整備された施設等は、十分に活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-			
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	当該事業は、被災県が計画的に行う被災地の医療提供体制の再構築に対する重要な支援事業であり、各事業を着実に進めることにより、今後の成果が期待されることから、継続して被災県を支援してまいりたい。					
	改善の方向性	被災県が計画的に復興事業を進めているところであり、引き続き適切に実施していく。					
外部有識者の所見							
対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
通現り状	再開を希望する福島県の民間医療機関等の施設整備・設備整備等という目標を達成するため、基金の活用が進むよう配慮しつつ、基金の適切な執行管理を行うこと。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
通現り状	再開を希望する福島県の民間医療機関等の施設整備・設備整備という目標を達成するため、平成29年度当初予算で措置しており、平成31年度予算概算要求において予算要求しないものの、引き続き基金の適切な執行管理に努めていく。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	24-078
平成26年度	新27-005	平成27年度	27-0006	平成28年度	0073		
平成29年度	復興庁 (0059)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.福島県			B.福島県立事業会計		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
交付金	医療提供体制の復興のための基金造成	23,626	補助金	双葉地域における県立病院の建設	2,409
			補助金	医療人材の確保等	203
			補助金	双葉地域における県立診療所の運営	55
計		23,626	計		2,667

